



東京ふるさと滝根会 懐しの故郷を訪ねて

9月21日、滝根町内において、東京ふるさと滝根会の「ふるさと訪問」が開催されました。

今回のふるさと訪問は、あぶくま洞秋まつりに合わせて開催。参加者は、あぶくま洞を懐かしみながらも催しを楽しみ、さまざまな出店者と交流を図っていました。あぶくま洞秋まつり後には、星の村ふれあい館で、市関係者やふるさと滝根会地元協力会との交流会が開催され、現在の市の取り組みや各会員の状況など情報交換を行いました。



あぶくま洞秋まつり 2025

9月21日、あぶくま洞特設ステージで「あぶくま洞秋まつり 2025」が開催されました。

地元食材を使った多彩なグルメや縁日コーナーなどが設けられ、家族連れをはじめ、多くの来場者が食と体験を楽しんでいました。

あぶくま洞内での「マイクアローン」の特別公演や、ステージでの「楠木康平歌謡ショー」や「三四郎のお笑いライブ」など次々と行われ、会場は盛んな拍手に包まれていました。



カヌーに乗って 自然を満喫

9月20日、田村市青少年健全育成市民会議事業として、「自然とあそぼう〜どきどきカヌー体験!〜」が福島県会津自然の家で実施されました。

市内の小学生15人が参加し、午前中は火おこし体験、午後にはカヌー体験を楽しみました。お昼は自分たちでおこした火を使って焼きそばを作り、自然に囲まれながら食べるなど、日常生活では味わうことのできない体験ができました。



第1回高齢者学級 「移動学習」

9月5日、中央公民館事業高齢者学級第1回学習会「移動学習」を開催し、受講生20人が参加しました。会津若松市のアカベコランド飯盛山店や会津武家屋敷、榮川酒造で体験・見学をしてきました。参加された皆さんは、アカベコランドで赤べこ絵付け体験をして、デザインに悩みながらも楽しく作業されていました。「初めての体験で良かった」「もう少し時間が欲しかった」などの声が聞かれました。



都路民話の会

8月31日、都路公民館で「方言と歌でつながりづくり」をテーマに都路民話の会主催で開かれました。

約60人が参加し、方言の部では、田村の民話の会3人、都路民話の会の語り部が民話や都路方言歳時記を披露しました。また、福島大学の半沢康先生による「復興支援における方言の役割」の講話、国内外の被災地で、歌を通して、心の救援物資をされている元NHK歌のお姉さんの森祐理さんによる歌と震災復興のお話などが行われました。



グリーンパーク杯争奪 スポ少ソフトボール大会

第17回田村市都路グリーンパーク杯争奪スポーツ少年団ソフトボール大会が8月30日、市都路運動場と野球場で開かれました。都路スポーツ少年団の主催、市などの後援。

県内各地区から19チームが集結し、2ブロックに分かれてトーナメントを行いました。子どもたちは猛暑の中でも明るく元気に、必死にボールを追いかけて熱戦を繰り広げました。市からは、都路、芦沢七郷、美山の各スポーツ少年団が出場しました。



障がい者スポーツ教室・ スポーツ大会

10月4日、市総合体育館で、障がい者スポーツ教室・スポーツ大会が開催され、約90人が参加しました。ポッチャとフライングディスク競技の総合得点による団体戦で行われ、市内の障がい者サービス事業所で製作された商品が各賞の賞品として贈呈されました。

参加者は、和やかな雰囲気の中、周りの声援に応えるように真剣なまなざしで競技に取り組んでいました。



第47回少年の主張 福島県大会

9月25日、喜多方市の喜多方プラザ文化センターで、第47回少年の主張福島県大会が行われました。

応募総数10,756人の中から代表16人が選出され、田村市からは先崎星愛さん（滝根中3年）が出場しました。先崎さんは「私が俺になるまで」と題した主張を堂々と発表し、見事、優秀賞に輝きました。



第26回福島県市町村対抗 ゴルフ大会

9月25日、白河市のグリーンアカデミーカントリークラブで、第26回福島県市町村対抗ゴルフ大会が開催されました。

団体戦はチーム3人編成・18ホールで競技し、田村市からは、田村市A・田村市Bの2チームが出場しました。

県内から46チームが出場し、残念ながら入賞することはできませんでしたが、「来年は上位入賞を目指したい」と決意を新たにしています。



ふねひき商工祭

9月20日、船引駅前栄町森公園で、中心市街地のにぎわいの創出を目的に「ふねひき商工祭」が開催されました。

会場では、ビンゴゲーム大会やフリーマーケットなど盛り上がるイベントが行われました。このほか、ダンスやパフォーマンスのステージイベント、豪華景品が当たる大抽選会なども行われ、来場者が楽しいひとときを過ごしていました。



キエーロ・ワークショップ

9月20日、中央公民館で、市民の皆さんを対象にキエーロ・ワークショップを開催しました。

福島イノベーション・コースト構想推進機構の「復興創」事業の一環として、獨協大学が企画・実施し、11人が参加しました。地球温暖化と生ごみの関係やキエーロを使うコツについて講義を受けたあと、学生12人とともに田村市の木材を使ったキエーロを作成しました。参加者は田村市の一人当たりのごみの排出量を効率よく減らすために、生ごみの水分に着目し、キエーロを使用することで果たせることなどを学びました。



オータムスマティクス キャンプ

9月6日、市役所で、7年度オータムスマティクスキャンプを開催し、市内の小学5・6年生と中学生の21人が参加しました。

本事業は、児童生徒が算数・数学を楽しく学び、学習意欲を向上させることを目的としています。当日は、教育委員会の指導主事が楽しく算数・数学を学べる授業を行いました。参加した児童生徒は、算数・数学の問題にグループで挑戦するなど、数学的に考える力を高めていました。